

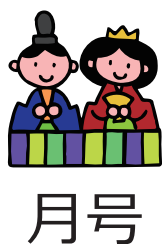
図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成31年
(2019年)

3



月号

第456号 (第37巻第12号)

【目次】

P 1	貸出延長手続きのお知らせ	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	事業報告	P 8	新着図書案内
P 4	アーニス分館だより	P 12	カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

本の貸出し延長の手続きについて

- ・返却期限日前であれば他に予約している方がいない場合に限り、2週間延長することが出来ます。
- ・延長後の返却期限は、レシートに記載されている本来の「返却期限日」から起算して2週間後までになります。延長申出日からの起算ではありません。
- ・延長はカウンターや電話でもお受けします。
- ・延長は1回までです。また、返却期限日を過ぎた場合は延長が出来ません。
更に延長したい場合はカウンターまで本をお持ちください。
他に予約している方がいない場合は一旦返却したのち再度貸出しいたします。
(電話や本がない状態では再度の延長は出来ません。)

*返却期限日を過ぎた本を続けてご利用になりたい場合は、カウンターまで本をお持ちください。他に予約している方がいない場合は、一旦返却したのち再度貸出しいたします。

*室蘭・伊達市の図書館で利用した本の延長手続きについては、利用した図書館までお問い合わせ下さい。



映画会

※会場はいずれも図書館3階の会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

- こども映画会** 日時 3月2日(土) 10時30分より(24分×2本)
タイトル 「山太郎かえる」「るんは風の中」(アニメ2本)
- 名画鑑賞会** 日時 3月2日(土) 13時30分より(113分)
タイトル 「恋谷橋」(邦画)

イベント・講座

※会場はいずれも図書館3階の会議室です。
お問い合わせ先：登別市立図書館

①市民活動サポーター説明会

図書館ボランティアについての趣旨や活動内容をご説明します。

開催日時 3月9日(土) ①10時～11時 ②14時～15時 ③17時～18時

 申込不要

②図書館郷土講座「クッタラ火山噴出物と幌別火石林」

└ 講師 登別市文化財審議会委員・郷土資料館SLG 倉澤保文さん

化石林など、登別の自然について学びます。

開催日時 3月16日(土) 13時30分～15時

 申込不要

おはなし会

※会場：②のみ図書館3階会議室
その他は図書館1階えほんのへや

①えほんのへやのおはなしかい(絵本や紙芝居の読み聞かせ)

日時 3月9日(土) 14時より

②おはなしくれよん(えほんとわらべうたあそび)

日時 3月13日(水) 10時30分より

③おはなしほけっと(絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど)

日時 3月23日(土) 13時30分より

④中高生によるおはなし会(中学生・高校生による絵本や紙芝居の読み聞かせなど)

日時 3月30日(土) 13時30分より



ロビー展示

『雑誌と本のリサイクル市』

図書館で除籍した本や保存期間の過ぎた雑誌を市民の方へ無料で差し上げます。
なお、できるだけ多くの方に広く提供するため、**ひとり1日10冊まで**とさせていただきます。 ※袋やバッグをご持参ください。

期間：3月1日(金)～3月31日(日) 場所：図書館1階 ロビー

事業報告

図書館郷土講座「登別の自然と登別化石林」を開催しました

1月19日（土）午後1時30分より、登別市文化財審議会委員を務められ、郷土資料館SLGでもご活躍されている倉澤保文さんを講師にお招きして、標記の講座を開催しました。

本講座では、登別の自然史について、主に地質の視点から解説して頂きました。市内で発見された貴重な化石である「タカハシホタテ」や「登別化石林」のほか、札内台地の地層や温泉のメカニズムなど、もっと聴きたくなる内容が満載のご講話でした。

なお、ご好評にお応えして3月には本講座の続編を開催する予定です。今回お聴き逃しの方も、是非ご参加ください。



絵本の読み聞かせ講座「心を届ける朗読・読み聞かせ」を開催しました

2月9日（土）アナウンサーの五十嵐いおりさんを講師にお迎えして、絵本の読み聞かせ講座を開催しました。

記録的寒波の中、地元の団体や小学校などでボランティアをしている方や読み聞かせに興味のある方など総勢32名が参加してくれました。

講座では、最初に読み聞かせの基本として、母音の口の開け方や声の出し方、「粒立（つぶだて）」＝「ことばを一音ずつ際立たせること」や

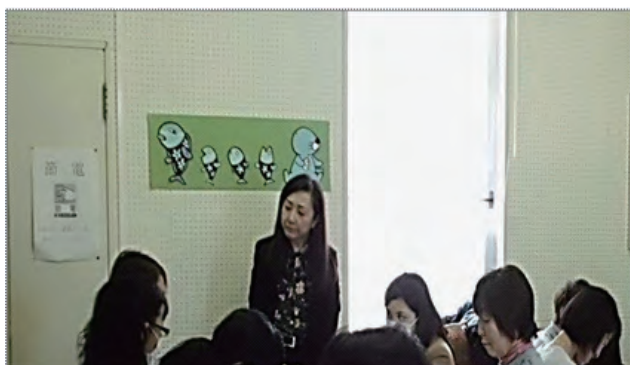
「一音目に息をあてる」＝「たいようではなく、**たい**ようと一音目をはっきり言うこと」などのスキルを学びました。また、レオ＝レオニの「スイミー」を題材として、黙読・グループワークを通じて作品理解を

深めてから、1人が数節ずつを読んで、先生より丁寧なアドバイスをいただきました。

講演時間は過ぎてしまいましたが、最後に先生を加えて参加者全員で輪読を行いました。その際には、いただいた的確なアドバイスの成果がみなさんの読み聞かせに活かされており、先生が最後の数節を読み終わると、会場は大喝采となりました。



教材となった「スイミー」
レオ＝レオニ／作
谷川 俊太郎／訳
好学社／発行



アーニス分館だより

アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * オンライン・データベースを利用できます。
- * DVDを視聴できます。
- * 見やすい大活字本もあります。
- * 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報がご覧いただけます。



♪ イベント報告のパネルを展示しております！

春旅



- 3月といえば春のはじまり。そして卒園・卒業など新しい旅立ちの季節です。
- 共に頑張ってきた大切な仲間たちと一緒に。
- 気の知れたご友人・ご家族と一緒に。
- アーニス分館の旅行本をぜひ旅の参考に役立てて下さい。
- はじめてのひとり旅も、みんなでワイワイ楽しい旅も、一生忘れない旅になりますように…



《新刊おすすめ本紹介》

並べて学べば面白すぎる世界史と日本史 / 倉山満著 / KADOKAWA



誰もが知っている日本史と世界史を、それぞれの同時期に並べて見てみると今まで別々の歴史が面白いほど重なって見えてくる。随所に年表があり見比べながら確認する事が出来るのも、より身近なものとして捉えられる。またその時代を動かしてきた人物像の違った視点での観察にびっくり！

思わず、「へ～そうなの！」とか「ふ～ん、なるほど」等の言葉が出てしまいます。知っているようで本当は歴史ってもっともっと面白い。つついページが進んで行きます。今までには無かった新しい歴史書をどうぞお気軽に手に取ってご覧下さい。



私は3歳の頃から、絵本を見ながらおりに留守番のできる、いい子でした。だからと言って「絵本大好き子」だった訳ではありません。小中学校時代に読んだものと言ったら教科書に載っているお話を読んだくらいで、高校時代は先生に言われるままカフカ・カミュ・モームを読んでみたものの、さして理解できず、「趣味は読書」なんてとても言えませんでした。

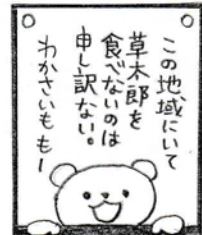
私を本の世界に引き寄せてくれたのは、大学時代、FMから聞こえてきたラジオドラマ～「さらば国分寺書店のオババ(椎名誠)」でした。それが滅法面白く、さっそく本を買って読み、その後も新刊が出れば買い求めて、家の本棚は椎名誠で一杯に。そんな私を知ってか兄は、大学入学のお祝いにと



「もたえ苦しむ活字中毒者地獄の味噌蔵」という本をプレゼントしてくれました。表紙を開くと「邦子さん、合格おめでとう 椎名誠」とサインが入っていて！目玉が飛び出る位ビックリしました。兄の影響で読んだ高橋和巳、野間宏にも夢中になり、読書はやめられないっ！と思えるようになりました。

30代半ばに大きな病気をしました。死について考えざるを得ない心況になった時、私はお経の訳本や法話集を読みました。そんな中、「私たちは今、この世(此岸)に旅に来ているところで、旅が終われば彼岸に帰るのです」という、ひろさちや氏の一文に大変救われました。

40代、水戸から泣く泣く登別にやって来て数か月、室蘭には八木義徳、三浦清宏という2人の芥川賞作家がいることを知りました。初めて聞く名前だったので直ぐに忘れましたが、後に2人の名前を見聞きする度に「何か申し訳ない気持ち」がしました。「この地域にいながら2人の作品を読まないでいるのは失礼だ..申し訳ない」と。ちょっとヘンかもしれませんが、私はそう思ってしまったのです。



さっそく2人の受賞作と図書館にある作品を読みました。三浦氏の自伝でもある「海洞」を読んで、私は物語の主人公「清隆」にすっかり熱をあげ、のちに「清隆」＝「三浦清宏」氏が来蘭した時には、晴れて憧れの君に会えたような気持ちでした。父と、年2つ違いの三浦さんに父の姿が偲ばれて、三浦さんにはこれからも元気で出筆活動を続けてほしいと思いました。



「何か申し訳ない気持ち」はもう1つあって、「登別に住んでいるならアイヌのことを知らなきゃ申し訳ない」。そこで今度は「知里幸恵 アイヌ神謡集」や、アイヌのお話絵本を読みました。あらゆるものに神が宿ると捉え、自然に感謝しながら、自然と共存して生きるアイヌの心・文化を知ることができました。

そして現在進行形の50代は、白内障だ、介護だと、なかなか以前のように本を読むことができません。そんな時にも読んだ本は「後悔しないための介護ハンドブック」！自分が介護の本を買って読む日が来るなんて、思いもしませんでした。父のため！とても頼りになる本でした。

こうして半世紀を振り返ると、自分の置かれた状況に沿って自然に本を手に取り、いつも本と一緒に歩いてきました。本があれば、ひとりじゃない。私を笑わせ、私を勇気づけ、感動の涙を降らせる本。ハテナ？に答えてくれる本。実在でも空想でも、どんな世界でも連れてってくれる本。本はなんて素晴らしいのでしょうか！

私にとって本は「いつもそっと側にいて、私を応援してくれる頼れる友だち」。まだ会った事のない素敵な友だちに会えるのを楽しみに、これからも足繁く図書館に通いたいと思います。

♪ Ooh you make me live Ooh you're my best friend

(君がいるから生きてゆける 君は僕の最高の友だち) クイーン/マイベストフレンドより

「読書ってこんなに面白いんだ！」私がこんな境地に至ったのは、30歳という節目に差し掛かった昨年の春先の事。もし臨時職員として図書館に配属されていなければ、35歳、40歳・・・それに気づくのはまだまだ先になっていただろう。いや、若しくは一生気づかなかったのかもしれない。私が生きてきたこの20数年、今まで読了した本は両手で十分数えられるくらいに少ない。学生時代の教科書を除いて、おそらく9～10冊程度。こうやって自らの読書歴を思い返してみると、いったい私は今まで何をやっていたのか…。過去に戻って自分の尻を叩いてやりたくなる。こんなやり場のない激情を抑えつつ、この1年間に読み終えた書籍の割合を可視化してみると、読んでいる時点では気づかなかった自分の傾向が見えてくる。自己啓発・ビジネス関連6割、パソコン・SNS関連3割、児童書・小説0.5割ずつ。どうやら実用的なものが好みらしい。ただし、そんなに頭が良い人間ではないので経済・ビジネス用語を理解するのに時間がかかるし、読むスピードも遅いし、内容も完璧には覚えられない。きっと、いつ読書嫌いになってもおかしくない挫折予備軍だろう。では一体、上述の読書の面白さはどこから感じられたのか。それは自分の知りたい新たな情報をこの手で掴む面白さ。著者のニュアンスを受け取り、それを自らの行動に取り入れる面白さ。私の好奇心を刺激しモチベーションを高めてくれる面白さ。他にもあるが、主にこの3つが大きな要因である。

さて、ここで少々読書から離れてしまうが私の応援している某タレントの代表曲の一節を紹介させて頂く。「胸の奥 熱いんだ 今わたし "夢の途中"」ちなみに歌っている子の当時の年齢は私と一回り近く離れている18歳。だが、これが現在の私の胸に刺さった。こんな30歳間近の人間が往年の松田聖子を彷彿とさせるフレッシュ！な楽曲に感銘を受けるなんて。「お前大丈夫か」とか「もうちょっと落ち着きなさい」とか横槍が飛んできそうな気配しかしない。しかし、この楽曲の一節から私が読み取ったものと、先の読書から得られた3つの面白さ。これらの根底にあるものは私の中では共通している。それは「新たなことに挑戦する、チャレンジャー精神」である。ここ数年間、年齢を重ねる毎に失っていった本来の自分らしさ。要領は悪いが、思い切りよく、物怖じせず新しい事でも積極的にトライする性格。「仕事ってこういうものだ」とか「地方で生きるってこういうことなのだ」とか知らず知らずのうちに周りに流されラインを決めていた。そんな煮え切らない思いを整理し、読書をはじめとする様々な経験を通して、本来の自分の価値観を再確認することができたこの1年間はとても実りあるものだったと実感している。まだまだインプットばかりでアウトプットが弱い私ではあるが、がむしゃらに挑戦する気概と行動力、そしてそれができる環境を私に与えてくれる周りの方々への“感謝”を絶対に忘れずに、自分の新しい目標・目的により近づけるよう励んで行きたい。

「最後にこの1年間、多方面で大変お世話になりました！ありがとうございました！」



『コーヒーが冷めないうちに』 川口俊和 著 / サンマーク出版



過去に戻れる喫茶店を訪れた4人の女性たちが紡ぐ、家族と、愛と、後悔の物語。

とある街の、とある喫茶店の、とある座席には不思議な都市伝説があった。

その席に座ると、その席に座っている間だけ望んだ通りの時間に移動ができるという。

数多くのルールの中で、過去に戻れるのは、コーヒーをカップに注いでから、そのコーヒーが冷めてしまうまでの間だけ……。

第一話 結婚を考えていた彼氏と別れた女

第二話 記憶が消えていく男と看護師

第三話 家出した姉とよく食べる妹

第四話 この喫茶店で働く妊婦

心温まる四話の奇跡。

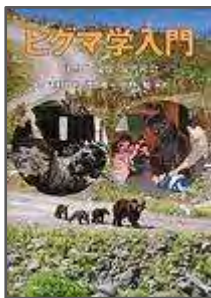
私の小さな本棚の数少ない本の中で、選挙もせずにセンターを飾っている一冊です。



郷土資料紹介



『ヒグマ学入門』 天野哲也・他 著 / 北海道大学出版会



むかしむかし、登別温泉の民芸店の軒先には、熊の木彫り実演が行われており、その傍らに子熊が首輪を付けられて、無邪気に遊んでいる姿が見られたものでした。

そんな子熊も大きくなると、日本最大の猛獣と言われ危険な恐ろしい動物として毛嫌いされてしまいます。

北海道ではヒグマは親しみを込められ山親父

と呼ばれ、アイヌ民族をはじめ世界中の民族からは敬愛の情をいただき、神と崇められています。

ヒグマは「森の領主」

その生態、習性を知ってこそ、人身事故への万全な予防ができます。

さまざまなフィールドサインから接触をさける知識、出会ってしまったときの対処法などを山親父が冬眠中にこの一冊で学んでみませんか。



新着図書案内 平成31年3月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		なるほど知図帳世界 2019	昭文社
人工知能 その到達点と未来	中島 秀之ほか	なるほど知図帳日本 2019	昭文社
●最後の読書	津野 海太郎	海外旅行のスマホ術 2019最新版	日経BP社
図書館さんぽ 本のある空間で世界を広げる	図書館さんぽ 研究会	グッとくる横丁さんぽ	村上 健
現代用語の基礎知識 昭和編	自由国民社	3 政治・経済・社会・教育	
思い出の少女雑誌物語	村崎 修三	● THE LAST GIRL イスラム国に囚われ、 闘い続ける女性の物語 大阪的「おもしろおぼはん」は、こうして つくられた	ナディア・ムラド
1 哲学・宗教		働く女子と罪悪感	井上 章一
ゲッターズ飯田の「五星三心占い」決定版	ゲッターズ飯田	● 楽しき哀しき昭和の子ども史	濱田 敬子
人のために頑張りすぎて疲れた時に 読む本	根本 裕幸	人殺しの論理 凶悪殺人犯へのインタビュー	小泉 和子
60歳からの勉強法	和田 秀樹	<超・多国籍学校>は今日もにぎやか!	小野 一光
オウムと死刑 7.6/7.26 2018	河出書房新社 編集部	陰陽五行でわかる日本のならわし	菊池 聡
本願寺はなぜ東西に分裂したのか	武田 鏡村	● 妖怪たちのいるところ	長田 なお
私が選んだもので私は充分	ドミニック・ローホー	大人の礼服とマナー	水木 しげる
大丈夫。人間だからいろいろあって	香山 リカ	税理士になるには 改訂版	文響社
試験に出る哲学 「センター試験」で西洋思想に入門する	斎藤 哲也	東大を出たあの子は幸せになったのか	西山 恭博
気になる仏教語辞典	麻田 弘潤	0才から100才まで学び続けなくてはならない時代 を生きる学ぶ人と育てる人のための教科書	樋田 敦子
チベット仏教入門 自分を愛することから始める心の訓練	吉村 均	習近平は日本語で脅す	落合 陽一
2 歴史・地理		アナキズム 一丸となってバラバラに生きる	高山 正之
日本史の新常識	文藝春秋	入門図解最新はじめての金融商品取引法	栗原 康
信長もビックリ!? 科学でツッコむ 日本の歴史	平林 純	トコトンやさしいブロックチェーンの本	奈良 恒則監修
ニイハウ・ゼロ 帰還できなかった零戦の記録	シド・ジョーンズ	幸福の増税論 財政はだれのために	上野 仁
● 拗ね者たらん 本田靖春 人と作品	後藤 正治	人生100年時代の年金戦略	井手 英策
風土記 古代の日本をひらく	瀧音 能之監修	0円副業のススメ	田村 正之
並べて学べば面白すぎる世界史と日本史	倉山 満	妻と正しくケンカする方法	クリス・ギレボー
わたしをひらくしごと	野村 美丘	寄付をしてみよう、と思ったら読む本	小林 美智子
母とヨーロッパへ行く 母+娘=100歳~の旅	太田 篤子	● 認知症フレンドリー社会	洪澤 健/ 鶴尾 雅隆
独学で歴史家になる方法	礫川 全次	大戦略論	徳田 雄人
最後の弾左衛門 十三代の維新	塩見 鮮一郎	60歳からの新・幸福論	ジョン・ルイス・ ギャディス
百姓一揆	若尾 政希	子どもの「困った」が才能に変わる本	曾野 綾子ほか
図説古代ギリシアの暮らし	高島 純夫ほか	知ってはいけない 日本の主権はこうして失われた	田嶋 英子
近代初期の松浦武四郎	松浦武四郎記念館	相続で絶対モメない遺産分割のコツ	矢部 宏治
● 札幌の地名がわかる本	関 秀志	シニアシングルズ女たちの知恵と縁	佐山 和弘
学校では教えてくれない江戸・幕末史 の授業	井沢 元彦		大矢 さよ子ほか

新 着 図 書 案 内 平成31年3月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
雪かきで地域が育つ	上村 靖司ほか	● 家をセルフでビルドしたい	阪口 克
老後の誤算 日本とドイツ	川口マーン恵美	僕の好きな車	横山 剣
除染と国家 21世紀最悪の公共事業	日野 行介	老後資金は貯めるな！ 60歳から始めればいい安心のマナー術	長尾 義弘
ドナルド・トランプの危険な兆候	バンディ・リー	● バナナの丸かじり	東海林 さだお
4 自然科学・医学		おかん飯 4 つやつや追いあぶら編	西原 理恵子/ 枝元 なほみ
思い出し脳活テスト	ど忘れ現象を防ぐ会	生の魚じゃ、こうはいかにやいシリーズ 3 鰯缶	オレンジページ
〈あまり〉病気をしない暮らし	仲野 徹	旅するパティシエの世界のおやつ	鈴木 文
男性も女性も知っておきたい妊娠・出産のリテラシー	齊藤 英和/ 杉森 裕樹	コンプレックスを個性に変える	石田 純子監修
● ナチュラリスト 生命を愛でる人	福岡 伸一	面倒くさい日も、おいしく食べたい！	一田 憲子
海と陸をつなぐ進化論	須藤 斎	日本を動かした50の乗り物 幕末から昭和まで	若林 宣
免疫と「病」の科学 万病のもと「慢性炎症」とは何か	宮坂 昌之/ 定岡 恵	これで差がつく！ 本格そば打ち上達のコツ50	手打ち蕎麦研究会
自分で治す！ 股関節痛	銅冶 英雄	味噌汁専門店のおかず味噌汁100	美噌元監修
一瞬でかたい体がやわらかくなる 美構造メソッド	藤原 ヒロシ	● そばですよ 立ちそばの世界	平松 洋子
イラストでわかる疲れないカラダの使い方図鑑	木野村 朱美	ばあばの100年レシピ 母から私に。そして若い人へおくる味	鈴木 登紀子
科学者の社会的責任	藤垣 裕子	組み合わせ自由自在作りおき レンチンおかず353	食のスタジオ
最高の入浴法	早坂 信哉	● じゃがいも×ワタナベマキ=食感 (食の方程式 ポテトブック)	ワタナベ マキ
がん、脳卒中、心臓病三大病死亡 衝撃の地域格差	埴岡 健一/ 福島 安紀	もの選びで暮らしはぐんとラクになる	yukiko
医薬品業界で働く	池田 亜希子	斉藤謠子の手のひらのたからもの	斉藤 謠子
物忘れ・認知症を撃退！ 脳がよみがえる きくち体操	菊池 和子	最新！ 幼児食新百科 1才～5才ごろまでこれ1冊でOK！	ベネッセ コーポレーション
NHK出版からだのための食材大全	池上 文雄ほか	わかる！ 使える！ 鋳造入門	西 直美
ゆかいな認知症 介護を「快護」に変える人	奥野 修司	● 旅する舌ごころ 白洲次郎・正子、小林秀雄の思い出とともに巡る美食紀行	白洲 信哉
病気の9割は歩くだけで治る！ PART2	長尾 和宏	ダンボール織り機で、手織りざぶとん	蔭山 はるみ
変わる！ あなたのてんかん治療	中里 信和	大人のパンツ	日本ヴォーグ社
すごく科学的 SF映画で最新科学がわかる本	リック・エドワーズ/ マイケル・ブルック	予約の取れない家政婦タスカジさんのラク家事BOOK	タスカジ監修
温まって、おいしいフオンダンウォーター	楊 さちこ	じゃがいも・ブック	坂田 阿希子
あなたの指先、変形していませんか？	笠原 巖	ドイツ人が教えてくれたストレスを溜めない生き方	久保田 由希写真
出動！ イルカ・クジラ110番 海岸線 3066kmから視えた寄鯨の科学	松石 隆	6 産業・商業	
● なぜわれわれは外来生物を受け入れる必要があるのか	クリス・D. トマス	知っておいしいハーブ事典	伊嶋 まどか監修
ホクロとシミでわかる内臓不調	渡邊 由	名前がわかる！ フルーツ&ベジ タブル図鑑	主婦の友社
● NEVER LOST AGAIN グーグルマップ誕生	ビル・キルデイ	牡蠣の歴史	キャロライン・ティリー
5 技術・工業・家事		夜行バスで出かけましょう	小川 かりん
初めてでもかんたん！ 年中使える手作りの通園通学グッズ 2019年版	ブティック社	● メルカリ 希代のスタートアップ、野心と焦りと挑戦の5年間	奥平 和行
小学生のおかたづけ育 OURHOME	Emi	通信の世紀 情報技術と国家戦略の一五〇年史	大野 哲弥

新着図書案内 平成31年3月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
6 産業・商業		913 日本の小説	
農作物を守る鳥獣害対策 決定版	江口 祐輔	● 本と鍵の季節	米澤 穂信
● 平成犬バカ編集部	片野 ゆか	● あなたの愛人の名前は	島本 理生
7 芸術・スポーツ		● 光まで5分	桜木 紫乃
上方らくごの舞台裏	小佐田 定雄	フランス座	ビートたけし
フェルメール作品集	小林 頼子	神のダイスを見上げて	知念 実希人
カミキィの季節のおりがみ 飾る・使う・贈る	カミキィ	悲願花	下村 敦史
イギリスの絵本 下	吉田 新一	● ばけばけ	那須 正幹
● 「さみしさ」の研究	ビートたけし	芙蓉の干城(たて)	松井 今朝子
昭和を駆け抜ける	林 忠彦写真	● キンモクセイ	今野 敏
● 北に生きる猫	土肥 美帆	● 未だ行ならず 上・下	佐伯 泰英
● 空をゆく巨人	川内 有緒	すみれ屋敷の罪人	降田 天
ベートーヴェンを聴けば世界史がわかる	片山 杜秀	聖者が街にやって来た	宇佐美 まこと
これでいいのだ…さよならなのだ 証言:赤塚不二夫最期の日々	赤塚 不二夫 /杉田 淳子	● ゆえに、警官は見護(みつめ)る	日明 恩
全身芸人 本物たちの狂気、老い、 そして芸のすべて	田崎 健太	● 夜汐	東山 彰良
日本画の歴史 現代篇	草薙 奈津子	● 静おばあちゃんと要介護探偵	中山 七里
日本画の歴史 近代篇		鼠、恋路の闇を照らす	赤川 次郎
● ランニングスタートブック	金 哲彦監修	アトラス(天命探偵Next Gear 3)	神永 学
女優にあるまじき高峰秀子	斎藤 明美	● 昨日がなければ明日もない (杉村三郎シリーズ)	宮部 みゆき
● 僕が骨髄提供をした理由(わけ)。	木下 ほうか	それでも空は青い	荻原 浩
ミッキーマウスヴィンテージ物語	デイビッド・ ガースタイン	彼女たちがやったこと	唯野 未歩子
● 蒼い空へ 夫・西城秀樹との18年	木本 美紀	されど私の可愛い檸檬	舞城 王太郎
はじめての金継ぎ 初心者必携	坂田 太郎監修	知覧と指宿枕崎線の間	西村 京太郎
ベープ・ルース OHTANIがめざす二刀流ホームラン王	鈴木 惣太郎 /氏田 秀男	あの日、あの時、あの場所から	水沢 秋生
● 仕事にしばられない生き方	ヤマザキ マリ	影を歩く	小池 昌代
ミッキーマウスクロニクル90年史	ディズニーファン 編集部	● 介護士K	久坂部 羊
愛し続ける私	十朱 幸代	花折	花村 萬月
● 人騒がせな名画たち 目からウロコ	木村 泰司	寄席品川清洲亭	奥山 景布子
ヒンメリをつくる 北欧フィンランドの伝統装飾モビール	山本 睦子	すててこ 寄席品川清洲亭 2	
つくろうよ! アンビグラム	野村 一晟	● 愉楽にて	林 真理子
8 言語		● ダンシング・マザー	内田 春菊
辞書編集、三十七年	神永 暁	● 草々不一	朝井 まかて
5日で学べて一生使える! レポート・論文 の教科書	小川 仁志	らんちう	赤松 利市

新 着 図 書 案 内 平成31年3月 No.4

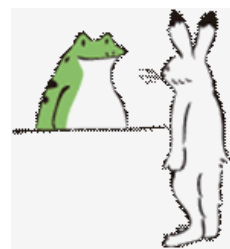
広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
かけらのかたち	深沢 潮	9 その他の文学	
会社を綴る人	朱野 帰子	ん!?	宮藤 官九郎
● 戯れの魔王	篠原 勝之	● ウーマン・イン・ザ・ウィンドウ 上・下	A. J. フィン
● 常設展示室	原田 マハ	女の不作法	内館 牧子
天下普請	稲葉 稔	男の不作法	
星の降る家のローレン	北川 恵海	● 牧子、還暦過ぎてチューボーに入る	
その日、朱音は空を飛んだ	武田 綾乃	● 作家との遭遇 全作家論	沢木 耕太郎
私以外みんな不潔	能町 みね子	麦の日記帖 震災のあとさき2010~2018	佐伯 一麦
人生のピース	朝比奈 あすか	作家と楽しむ古典 平家物語 能・狂言 説経節 義経千本桜	古川 日出男ほか
ゴー・ホーム・クイックリー	中路 啓太	● 巨大なラジオノ泳ぐ人	ジョン・チーヴァー
雨上がり月霞む夜	西條 奈加	ピアノ・レッスン	アリス・マンロー
108	松尾 スズキ	淳ちゃん先生のこと	重金 敦之
田沼スポーツ包丁部!	秋川 滝美	がんに生きる	なかにし 礼
そこにいるのに	似鳥 鶏	● 文豪の猫	アリソン・ナスタシ
怪盗インビジブル	行成 薫	幸せについて	谷川 俊太郎
さよならの夜食カフェ (マカン・マラン おしまい)	古内 一絵	人生の後片づけ 身軽な生活の楽しみ方	曾野 綾子
千のグラスを満たすには	遠藤 彩見	● 曙光を旅する	葉室 麟
入れ子の水は月に轢かれ	オーガニックゆうき	● 不良老人の文学論 Essays on Literature & Other Subjects 2004-2018	筒井 康隆
● 曙に咲く	蜂谷 涼	日本の同時代小説	斎藤 美奈子
はんぶくするもの	日上 秀之	百人一首という感情	最果 タヒ
雑賀のいくさ姫	天野 純希	炎の色	ピエール・ルメートル
境内ではお静かに 縁結び神社の事件帖	天祢 涼	麗しき夫人 D・H・ロレンス短篇選	D. H. ロレンス
柳は萌ゆる	平谷 美樹	猫も老人も、役立たずでけっこう NHKネコメンタリー猫も、杓子も。	養老 孟司
有村家のその日まで	尾崎 英子	一私小説書きの日乗 新起の章	西村 賢太
海とジイ	藤岡 陽子	お別れの色(どくだみちゃんとふしばな3)	吉本 ばなな
救済	長岡 弘樹	● 命の限り、笑って生きたい	瀬戸内 寂聴/ 瀬尾 まなほ
54字の物語 怪	氏田 雄介	● 針と糸	小川 糸
斗星、北天にあり	鳴神 響一	俳句づくりに役立つ! 旧かな入門	山西 雅子
● 不意撃ち	辻原 登	うちの子もいじめられました「いじめ 不登校」から「脱出」まで150日間の記録	鈴木 真治
● ラストライン	堂場 瞬一	森には森の風が吹く	森 博嗣
ショートショート美術館	太田 忠司/ 田丸 雅智	「雑」の思想 世界の複雑さを愛するために	高橋 源一郎 /辻 信一
銀色の青	笑い飯哲夫	まあまあの日々	群 ようこ
この恋は世界でいちばん美しい雨	宇山 佳佑	死ぬまでに一度は訪ねたい東京の文学館	増山 かおり

利用者カードを忘れたときは

利用者カードを忘れた際はカウンターまでお申し出ください。
お渡しする申込用紙に氏名と電話番号を記入して頂き、登録されている情報と確認が出来れば本の貸出しをすることが出来ます。

(電話番号がわからない場合は生年月日でも確認が出来ます。)
すぐに確認できますので買い物やお出かけの途中などカードをお持ちでないときも、ぜひお気軽に図書館をご利用ください。



図書館カレンダー 平成31年(2019年) 3月

※3月9日(土)は鷺別配本所が臨時休館となります。ご注意ください。

日	月	火	水	木	金	土
					1 リサイクル市 開始	2 映画会
3	4 本館休館	5	6	7 分館休館	8	9 鷺別休館 サポーター説明会 おはなし会
10	11 本館休館	12	13 おはなしくれよん ブックスタート	14 分館休館	15	16 郷土文化講座
17	18 本館休館	19	20	21 春分の日 本館休館 分館休館	22	23 おはなしほけつと
24	25 本館休館	26	27 ライブラリースタート おはなし会	28 分館休館	29 図書整理日 本館休館 分館休館	30 中高生による おはなし会
31 リサイクル市 最終日	4/1 本館休館	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6 映画会

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00